

県民提案型協働創出事業 成果報告書

実施団体名	一般社団法人白神コミュニケーションズ		
取組事業名	白神エリアでのエコツアー開発とあきた白神認定ガイドの活用推進		
採択年度	令和5年度	補助金額 (3年間)	3,300,000円
事業概要			
1 地域課題と事業目的			
<p>(背景と課題)</p> <p>白神山地及び周辺部の環境保全と観光振興に資する目的で、県自然保護課が制定し、認定した「あきた白神認定ガイド」では、令和2年度までの3年間で40人の認定者を輩出し、現在は資格有効期間延長のための更新講習を行っている。</p> <p>しかしながら、実際のガイド経験やスキルアップの場が少なく、また、認知度や企画力・営業力が決定的に不足しているため、ガイド資格を有効活用できていない現状となっている。</p> <p>(目的)</p> <p>コロナ禍でさまざまな機会が失われたが、with コロナとなった今後は、秋田県側白神山地での世界自然遺産と、隣接する世界文化遺産・伊勢堂岱遺跡などとも連携しつつ、秋田県北に位置する両世界遺産の特質を磨き上げ、世界遺産の意義や環境保全意識の醸成を盛り込んだ誘客促進と理解増進を目的とする。</p>			
2 事業内容（課題解決の方法）			
<p>「あきた白神認定ガイド」活用推進と、環境保全と観光の両立、さらには当地域ならではの世界自然遺産と世界文化遺産の関連性を踏まえた「秋田白神型エコツアー」の創出を行い、企画力・営業力・発信力を備えた受皿機能を整備することで、秋田白神の認知度向上と安定的な誘客推進機能を確立させたい。</p>			
3 実施スケジュール			
<p>令和5年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画策定 ・先進地比較調査（屋久島） ・あきた白神認定ガイド向け活動意向調査 ・今後のガイド活用ワーキンググループ開催（12/27、2/6） ・事業計画策定 <p>令和6年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源（ガイドフィールドやポイント）の磨き上げ、再構築（4～10月） （R5 自保課委託：フィールド&アクティビティ可能性調査を基に） ・エコツアー商品の造成（4～10月） （A. G. T 向け営業ツールとして～季節、対象、テーマ、コース） ・首都圏旅行会社等への営業（12月） （2泊3日） 			

- ・ガイドのスキルアップ（4～1月）
（R6 自保課委託事業と協働）
- ・専用ホームページ制作（1～3月）

令和7年度

- ・受皿機能の強化～ガイドデスク・ホームページの設置と運用（4～3月）
- ・ガイドのスキルアップ（4～1月）
（R7 自保課委託事業と協働）

4 この事業で見込まれる成果

- ・新規エコツアー20本造成

※エコツーリズムの基本理念を盛り込む

（「自然環境の保全」「観光振興」「地域振興」「環境教育の場としての活用」）

- ・ガイド活用人数延べ60人（回）（R6～7年度）

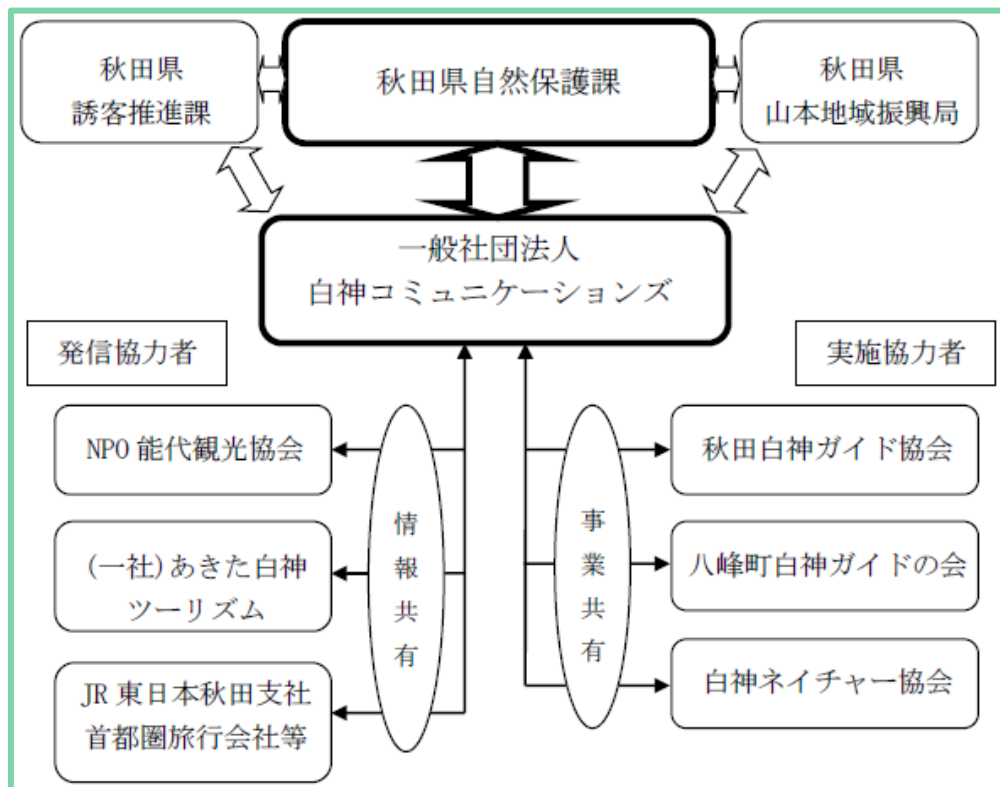
- ・誘客数約300人（R6～7年度）

※量より質＝白神ファンを増やす＝発信者にもなり得る

これらにより、結果として白神山地を深く理解し、ガイド自身が白神ファンであることで今後の保全の担い手が増強され（公益性）、それを核として発信力も高まり、エコツアー来訪者の増加につなげることで地域への貢献度が高まる。

5 主な役割分担と協働

県自然保護課主管事業のあきた白神認定ガイド育成事業をさらに展開・実用化に向けて、自然保護課との協働を主とし、誘客推進課、山本地域振興局の事業にも応用しながら、受け皿としての弊社では近隣の関係団体の協力を得ながら事業を進めた。



6 この事業の今後の課題・展開等

(課題)

・認定ガイドの底上げ

令和7年度に認定ガイドの新規講習を行い、新たに3名が認定されて総数は41名となった。

うち、本事業で制作したウェブサイトで登録・紹介しているガイドは24名、さらにその中から実際にガイドを依頼できたクオリティを持つ者は12名となっている。

その12名もすべて本業が別にある、ガイドへの情熱のある者は3人程度という状況の中、12名を一人前に育成しつつ、残りの29名の底上げは本人の意向も含め非常に困難であると思われる。

本事業で認定ガイドの活用をめざして旅行会社等へ売り込んだ結果、令和8年度のガイド受注数は年度末現在で26本となっている。

すべてに認定ガイドを割り振ることも難しく、今秋以降のガイド受注に応えられるガイドの員数をどのように増やしていくかが課題となる。

(展開)

当面は上記になるべく応えながら各ガイドの質の向上をめざしつつ、機会あるごとに旅行商品造成に向けて旅行会社へのアプローチを続け、同時にウェブサイトで地域とガイドの情報を発信し続けることとしたい。

■担当課室のコメント（自然保護課）

- ・当事業の補助により、当課で行っている白神山地の保全と利活用に向けた様々な取組をより充実したものにできたと感じている。また、地域で活動を行っている事業者と協働で進めることで、白神山地の保全と利活用における課題を改めて認識し、当課としても今後の白神山地関連事業について考える貴重な機会となった。
- ・本事業の成果である「ガイドデスク」を活用し、白神山地の情報発信や「あきた白神認定ガイド」の利活用促進など、県と地域の民間事業者が協働で事業を進める体制が構築された。